

世界初



ISO 9001
ISO 14001
JQA-2631 (非営利)
JQA-EM354B (非営利)

水系屋根用2液型ナノシリコン樹脂塗料

ルーフピアニ

ROOF PEONY

遮熱色・銀黒色 追加



「性能」と「安全性」の両立

世界初

System M 採用水系2液型塗料の完成

水谷ペイントは、世界初の2液硬化システム「System M」を開発し、性能と安全性を両立した水系2液型塗料が完成しました。

耐久性を支える技術

世界初

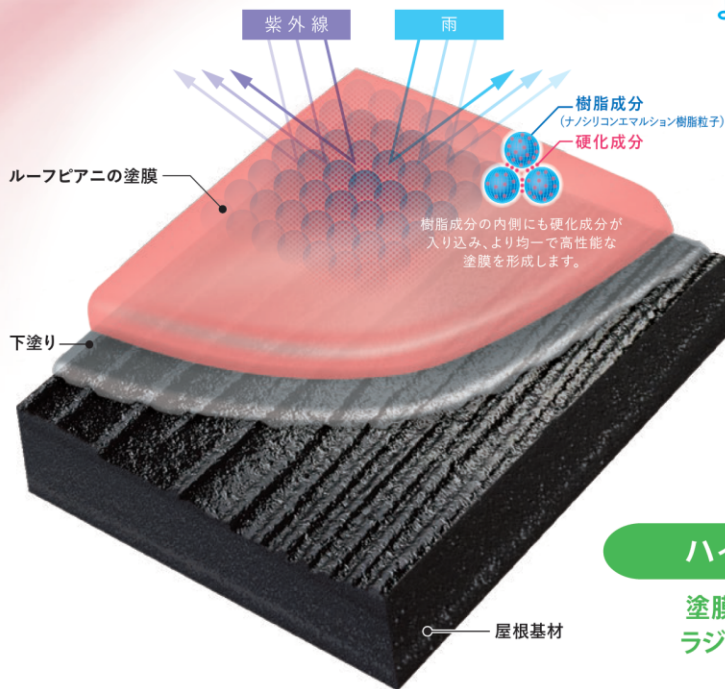
—特許出願中—

System M

2液の反応で強固に守る!!

ナノシリコンテクノロジー

ナノレベルの緻密なシリコン成分でより強い塗膜に!!



ハイラジカル制御

塗膜分解の原因となるラジカルの発生を防ぐ!!

「System M」による完全な塗膜が、硬度をはじめとする諸物性を向上させます。

強靱な塗膜

試験項目	評価方法	ルーフビタニ	A社清剤2液型シリコン樹脂塗料
硬度	鉛筆硬度 (23°C 1ヶ月後)	2H	B
耐水性	水道水 常温1ヶ月浸せき	異常なし	異常なし
耐アルカリ性	5%苛性ソーダ水溶液 常温7日間浸せき	異常なし	異常なし
耐湿潤冷熱繰り返し性	23°C×18h浸せき/-20°C×3h/50°C×3h 10サイクル	異常なし	異常なし

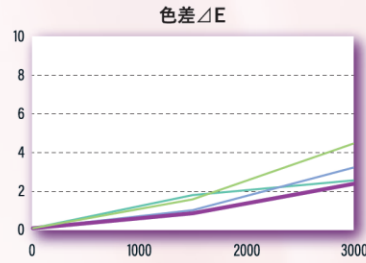
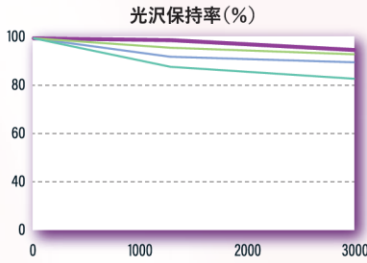
※約1ヶ月後の鉛筆硬度

超耐候性

ルーフピアニは、弱溶剤2液型シリコン塗料と同等以上の耐候性を保持した水系塗料です。

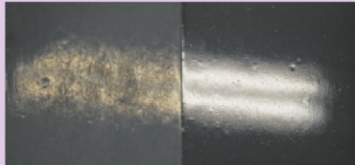
促進耐候試験 サンシャインウェザーメーター

経年で光沢が低下しにくい！



経年で色変化が少ない！

試験後の板の状態 (光沢と色差)



A社溶剤2液型シリコン変性樹脂塗料

ルーフピアニ

— ルーフピアニ

— A社 (弱溶剤2液型シリコン変性樹脂塗料)

— B社 (弱溶剤2液型シリコン変性樹脂塗料)

— C社 (弱溶剤2液型シリコン変性樹脂塗料)

耐汚染性

硬く強靱な塗膜が塗膜の耐汚染性を向上させます。

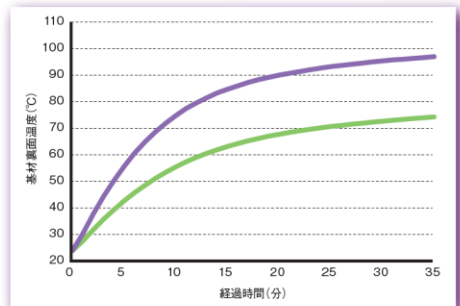
一般屋根用塗料では汚れが付着していますが、ルーフピアニは汚れを寄せ付けず、キレイな状態を保ちます。

遮熱性

遮熱色は、建物の温度上昇を抑制します。

遮熱性能を持った塗膜が太陽光の光を反射させ、建物の温度上昇を抑制します。

赤外線ランプによる遮熱効果試験結果 (基材:フレキシブル板)



— 遮熱色 (サーモバイエルンブラウン) — 一般色 (No.39バイエルンブラウン)

ご提案色

標準色



No.1
スカイブルー



No.43
ニューグリーン※



No.41
オリーブグリーン※



No.25
ウェザードグリーン



No.7
グレー



No.6
赤さび※



No.5
マルーン



No.14
チョコレート



No.34
ダンケルブラウン



No.39
バイエルンブラウン



No.40
グラニットブラウン



No.36
ナチュラルグレー



No.44
ナスコン※



No.4
アッシュブラック



No.15
黒

銀黒色



銀黒5号※



銀黒8号

銀黒色用下塗



下塗#10 グレー

遮熱色 優れた遮熱性能を発揮!



サーモン6グレー
日射反射率 72.7(49.4)
明度 60.5



サーモンナチュラルグレー
日射反射率 53.4(28.9)
明度 32.5



サーモンナスコン※
日射反射率 48.3(24.7)
明度 24.1



サーモンブラック
日射反射率 41.6(22.0)
明度 25.1



サーモンウェザードグリーン
日射反射率 51.8(28.8)
明度 35.4



サーモンチョコレート
日射反射率 50.6(27.2)
明度 26.7



サーモンダンケルブラウン※
日射反射率 55.1(30.4)
明度 32.8



サーモンバイエルンブラウン
日射反射率 47.7(25.0)
明度 26.9

日射反射率測定結果について

日射反射率 **75.1** (56.3) — 全波長域の日射反射率
780~2,500nmの近赤外波長域日射反射率

- この色はご提案色です。色によっては在庫がない場合がございます。また、※は準常備色です。納期は事前にお問い合わせください。
- 遮熱色の調色は対応できません。
- 日塗工色見本等からご希望に応じた色対応が可能ですが、色によっては対応できない色もあります。また、価格・納期が異なります。
- この色見本帳は紙に塗装しているため、実際の色とは多少異なることがありますので、あらかじめご了承ください。

用途

窯業系屋根材	住宅屋根用化粧スレート、プレスセメントがわら、乾式洋瓦
金属系屋根材	カラー鋼板(カラートタン、カラーアルミニウム板、カラーガルバリウム鋼板)、表面未加工のガルバリウム鋼板

塗装仕様

※記載以外の塗装仕様は、別途カタログをご覧ください。

●窯業系屋根材の場合

住宅屋根用化粧スレートおよびプレスセメントがわら(一般色を塗装する場合)

工程	使用塗料	希釈割合	塗装方法	塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗面積 (m ² /セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	劣化塗膜、脆弱部分、塵あい、コケ、油脂などは高圧洗浄、ワイヤーブラシで除去し、清浄な面とする。(含水率8%以下、pH10以下)									
下塗り	水系パワーシーラーII 16kg	既調合	ハケ・ローラー エアレス	0.15~0.18	1	80~107	-	-	2h以上	-
上塗り	ルーフピアニ A液15kg B液0.3kg	0.7~2.3kg (希釈水)	ハケ・ローラー エアレス	0.15~0.18	2	43~51	24h以内	4h以上 10日以内	-	16h以上

※ 基材表面が著しく劣化した箇所は、水系パワーシーラーIIを2回塗りしてください。

住宅屋根用化粧スレートおよびプレスセメントがわら(銀黑色を塗装する場合)

工程	使用塗料	希釈割合	塗装方法	塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗面積 (m ² /セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	劣化塗膜、脆弱部分、塵あい、コケ、油脂などは高圧洗浄、ワイヤーブラシで除去し、清浄な面とする。(含水率8%以下、pH10以下)									
下塗り	水系パワーシーラーII 16kg	既調合	ハケ・ローラー エアレス	0.15~0.18	1	80~107	-	-	2h以上	-
上塗り	ルーフピアニ 銀黒色 A液15kg B液0.3kg	0.7~2.3kg (希釈水)	ハケ・ローラー エアレス	0.15~0.18	2	43~51	24h以内	4h以上 10日以内	-	16h以上

※ 劣化したプレスセメント瓦の下部調整には、「水系ルーファー EX」をご使用ください。

※ 銀黒色はハケ・ローラー塗りが可能ですが、むらにならないように一定方向に仕上げてください。

※ 既存下地の色と上塗りの銀黒色の色差が大きい場合には、中塗りとしてルーフピアニ下塗り#10グレーをご使用ください。

※ 基材表面が著しく劣化した箇所は、水系パワーシーラーIIを2回塗りしてください。

住宅屋根用化粧スレート(遮熱色を塗装する場合)

工程	使用塗料	希釈割合	塗装方法	塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗面積 (m ² /セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	劣化塗膜、脆弱部分、塵あい、コケ、油脂などは高圧洗浄、ワイヤーブラシで除去し、清浄な面とする。(含水率8%以下、pH10以下)									
下塗り	快適サーモ水系シーラー 白 16kg	既調合	ハケ・ローラー エアレス	0.15~0.2	1	80~107	-	-	2h以上	-
上塗り	ルーフピアニ 遮熱色 A液15kg B液0.3kg	0.7~2.3kg (希釈水)	ハケ・ローラー エアレス	0.15~0.18	2	43~51	24h以内	4h以上 10日以内	-	16h以上

※ 下塗りは、水系パワーシーラーIIと快適サーモW中塗りクリームまたはエポックマイルドシーラーと快適サーモW中塗りクリームでも塗装可能です。

※ 基材表面が著しく劣化した箇所は、快適サーモ水系シーラー白を2回塗りしてください。

※ 遮熱塗料は、塗付量が少なくとも色相が違って見えたり、充分に隠れない場合がありますので、塗付量は厳守してください。

●金属系屋根材の場合

カラー鋼板、表面未加工のガルバリウム鋼板

工程	使用塗料	希釈割合	塗装方法	塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗面積 (m ² /セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	さびの発生が進行していたり、割れ、はがれ等のある場合は、3種ケレンによりさびや死膜を除去する。その後、清掃、水洗、乾燥させてから塗装する。									
下塗り	水系ハイエボン 主剤:9.0kg 硬化剤:6.0kg	0.8~1.1kg (希釈水)	ハケ・ローラー エアレス	0.16~0.18	1	83~94	4h以内	-	16h以上 7日以内	-
上塗り	ルーフピアニ A液15kg B液0.3kg	0.7~2.3kg (希釈水)	ハケ・ローラー エアレス	0.12~0.15	2	51~64	24h以内	4h以上 10日以内	-	16h以上

※ 表面未加工のガルバリウム鋼板は、未劣化の場合、目粗しをしてから塗装してください。

(ルーフピアニの塗装仕様の注意点(共通))

- 塗付量には希釈剤は含まれていません。塗付量は条件により増減します。
- ルーフピアニは2液反応硬化型塗料です。A液とB液の混合は必ず規定の調合割合になるよう混合し、マーゼル等で充分攪拌してください。
- A液とB液混合後およびB液の水希釈後の可使用時間は24時間(23℃)です。
- 夏場、基材温度が高い場合は、乾燥速度を調整するため希釈量を増やしてください。

荷姿

ルーフィア二	15.3kgセット(A液15kg B液0.3kg) ※A液とB液は必ず混合してご使用ください。	エポックマイルドシーラー	11kgセット(主剤10kg 硬化剤1kg)
水系パワーシーラーⅡ	16kg	快適サーモ水系シーラー 白	16kg
スラリー強化プライマーⅡ	8kgセット(主剤6kg 硬化剤2kg)	快適サーモW中塗 クリーム	15kg
水系ハイエボン	15kgセット(主剤9kg 硬化剤6kg) 5kgセット(主剤3kg 硬化剤2kg)	下塗り #10グレー	15kg

注意事項

〈窯業系基材の場合〉ケレン・清掃・清浄の方法

- ほこり・ゴミ・苔等を、ワイヤブラシ・タワシ・高圧洗浄機などで丁寧に除去。波形スレートの溝の部分、重ね箇所、フックボルト周辺は特に注意する。
- 黒くなっている場合は、全面をタワシでこすり、スレート生地を出す程度まで付着した異物を取り除く。
- ひび割れや防水の必要な箇所は、清掃後シーリング材で充て込んでおく。(シーリング材は、ウレタン系・ポリサルファイド系をおすすめします。シリコン系は不適)
- 古い塗膜のある時
- 浮き上がった塗膜(アクリル系でもウレタン系でも同様)、ワイヤブラシでよくケレンし、活膜だけを残す。
- 旧塗膜の艶が良くチョーキングしていない膜は、サンドペーパーで表面を軽く荒らす。
- 縁切り
水切り部で上下の瓦が塗料で接着している箇所は、スクレー等で縁切りを行ってください。(瓦と瓦の間に隙間がないと雨漏りや敷板が腐るおそれがあります。)

〈金属系基材の場合〉ケレン・清掃・清浄の方法

- さびの発生が進行していたり、塗膜に膨れ、割れ、はがれ等のある場合は、3種ケレンによりさびや死膜を除去する。

〈窯業系・金属系基材共通〉

施工上の注意

【塗装・養生】

1. 塗分量不足の場合は、熱反射率や耐久性が低下しますので、塗分量は厳守してください。
2. 遮熱塗料は、塗分量が少ないと色相が違って見えたり、十分に隠れないことがありますので、塗分量は厳守してください。
3. 遮熱効果は色相によって異なります。特に旧塗膜の明度が高く、塗り替えた塗膜の明度が低い場合は、遮熱効果が低下する場合があります。
4. 下記基材・条件については効果が出にくいのでご注意ください。
 - 色の選定で明度が下がる場合 (例)旧塗膜が薄いグレーからサーモブラックを塗装する場合。 ● 建物の構造上による場所
5. 高反射の特殊塗料を使用しているため、直射日光が当たる部分の塗装は、必ずサングラスをご使用ください。
6. 塗料がガラス、アルミサッシなどに付着したときは、すぐにウエス等に水をしみ込ませて、ふき取ってください。
- ※ 乾いたときは、ラッカーシンナーで傷つかないようにふき取ってください。
- ※ 自動車等に付着したときは早急に水洗いしてください。
7. シーリング面への塗装は、シーリング材の種類・使用条件により塗膜の汚染・剥離・収縮割れ等の不具合を起こすことがあるため、基本的には行わないでください。
やむを得ず行う場合は、塗り重ね適合性を確認してから必ずノンブリードタイプをご使用ください。
8. ハケ・ローラーは、水系専用のものをご使用ください。
9. ハケ塗り仕上げとローラー塗り仕上げが混在する場合、塗分量・表面肌が異なるために若干の色相差が生まれますので、ハケ塗り部分は希釈を少なくして塗装してください。
10. 補修部分が目立つことがありますので、同一塗料ロット、同一塗装方法で補修してください。また適正希釈にご注意ください。
11. ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により色相が異なって見えることがあります。
12. 汚れ・傷等により補修塗料が必要な場合がありますので、使用塗料の控量は取って置き、同一ロット・同一塗装方法で補修してください。
13. 塗装中に塗料を開放して放置しますと上乾きすることがありますのでご注意ください。また上乾きした塗膜は塗料に混ぜ込まないでください。
14. 水系パワーシーラーⅡとルーフィア二は別々のハケ・ローラーをご使用ください。
15. 塗装後の器具およびハケ・ローラーは直ちに水洗してください。なお、落ちにくい場合はラッカーシンナーで洗浄してください。

【施工】

16. 被塗物の表面温度が5℃以下の場合は塗装を避けてください。
17. 降雨・降雪・強風が予想される時や高温(80%以上)・低温(5℃以下)の場合は施工を避けてください。高湿度・低気温で塗装した場合、未乾燥状態で夜露などに当たると艶引けを起こすおそれがあります。(特に塗装後3~5時間程度は、絶対に雨などにあわないようにしてください。)
18. 山間部、あるいは夜露の早く降りる地域では、早めに塗装を終えて十分な乾燥時間を確保してください。
※ 特に18、19、20は塗膜の変色および剥離の原因になりますので充分ご注意ください。
19. 塗装直後、降雨や結露等で白化した場合、目荒らしを行って再度塗装してください。
20. 2液型塗料のA液とB液の混合は必ず規定の割合で混合し、マゼール等で充分攪拌してください。
21. 2液型塗料は、塗料毎の可使用時間内に塗装してください。また、気温が高い場合極端に可使用時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
22. 排水溝には捨てないでください。
23. 2液型塗料は、A液とB液は別々に密栓し冷暗所に保管してください。また、開栓後は早めに使い切ってください。
24. 塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。薄めすぎは隠れ力不足・仕上がりが不良等が起こりますのでご注意ください。
25. 塗装間隔は、被塗物の立地条件や気象条件等に大きく左右されますので、各工程の乾燥を充分確認の上、次工程に進んでください。
26. 夏季など、瓦の表面温度が特に高い場合(手のひらをあてて熱さを感じる位)は、散水してから塗装してください。
27. 化学物質過敏症の方は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
28. 塗装による臭いで、近隣に迷惑を掛けることがありますので、充分に配慮をお願いします。

【保管】

29. 小分けする場合は、充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因となります。
30. 小分けして使用した水系のシーラーは元の石油缶には戻さないでください。
31. 保管は直射日光を避け、冬季には凍結させないよう3℃以上の室内で行ってください。
32. 開缶後は直射日光を避け、皮張りした場合は、必ず取り除いてください。(一度乾燥した塗膜は水に溶けませんのでガン詰まりやブツの原因になります。ご注意ください。)
33. 材料の保管、取り扱い等は消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。
34. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。



水谷ペイント株式会社

大阪市淀川区西三国4丁目3-90 TEL 06-6391-3151
東京・北関東・中部・大阪・広島・福岡・札幌・仙台

塗料相談室 塗料に関するご質問、お問い合わせは…

06-6391-3039

営業時間：午前 9:00~12:00 午後 1:00~3:00

特約店

カタログの内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。